

知識リーダー育成 オープンユニバーシティのご案内

～思いを持って未来を創るリーダーを育てる～



知識リーダーシップ総合研究所

The Institute of Knowledge Leadership Studies

協力：横浜市文化観光局

協賛：株式会社富士通エフサス

知識リーダー育成オープンユニバーシティの実施に向けて①

【知識リーダーシップ総合研究所とは】

知識リーダーシップ総合研究所 (IKLS) は、知識経営の観点から、日本経済の今後の躍進を担うリーダー、リーダーシップに関する総合的な研究を行うために設立しました。 2009年より多摩大学研究機構内の組織として立ち上げ、2013年から社団法人化をして活動を進めていきました。

- ・名称：一般社団法人知識リーダーシップ総合研究所
- ・所長：徳岡晃一郎（多摩大学大学院教授）
- ・シニアディレクター：紺野登（多摩大学大学院教授）

【これからのリーダーに求められるものは】

不確実性が増し、社会不安が増大する中、明るい未来を描き、思いを持って未来を創るリーダーが求められています。また自社のこれまでの常識を超えるような大きなイノベーションを起こせるリーダーが求められています。

ビジョンやイノベーションが求められる時代のリーダーは、自社の利益や競争をどう打ち負かさかを考える「HOW TO」型のリーダーではなく、明確な価値観や、それに基づいた未来像を描ける人材です。そして多様性を活かし、対話から新たな解を導き出せる人材です。

知識リーダー育成オープンユニバーシティの実施に向けて②

【知識リーダーシップ育成オープンユニバーシティとは】

知識リーダーシップ総合研究所では、新たな時代のリーダー育成には企業の境界を超えた社会インフラとしての場が必要だと考えました。そこでこの度、知識リーダー育成オープンユニバーシティというプロジェクトを発足させることとしました。

これはオープンな場に各社からリーダー候補に集まっていただき、互いの思いや哲学について議論すると同時に、現実の社会問題解決発表を通じて高い視座を身につけようというプロジェクトです。単に商品、サービスを描くのではなく、地域住民の幸せや、社会システム全体を考え、ビジョンを描く力を身につけます。

今回、より実践的な社会問題に対して議論を深めるために、横浜市文化観光局の協力により、実際の社会課題の課題解決にチャレンジいただきます。

この学習スタイルの着想は、IKLSでもう一つの研究プロジェクトとして取り組んでいるフューチャーセンターにあります。立場の異なるリーダー候補が協働して社会問題解決に取り組むことで新たな時代のエリート、日本の明るい未来を創るリーダー育成を行っていきたくて考えています



知識リーダー育成オープンユニバーシティの構造図

- ・様々なバックボーンを持った多様性の高い次世代リーダーが集まり、テーマオーナーから提示された高度な課題について、互いの知を終結し、研鑽する事で最善解を導き出します。
- ・知識リーダーとして必要な幅広い視点や高い視座を獲得するとともに、多様性の中での議論を通じ、自分の哲学について見つめ直していきます。

テーマオーナー

横浜市

テーマ



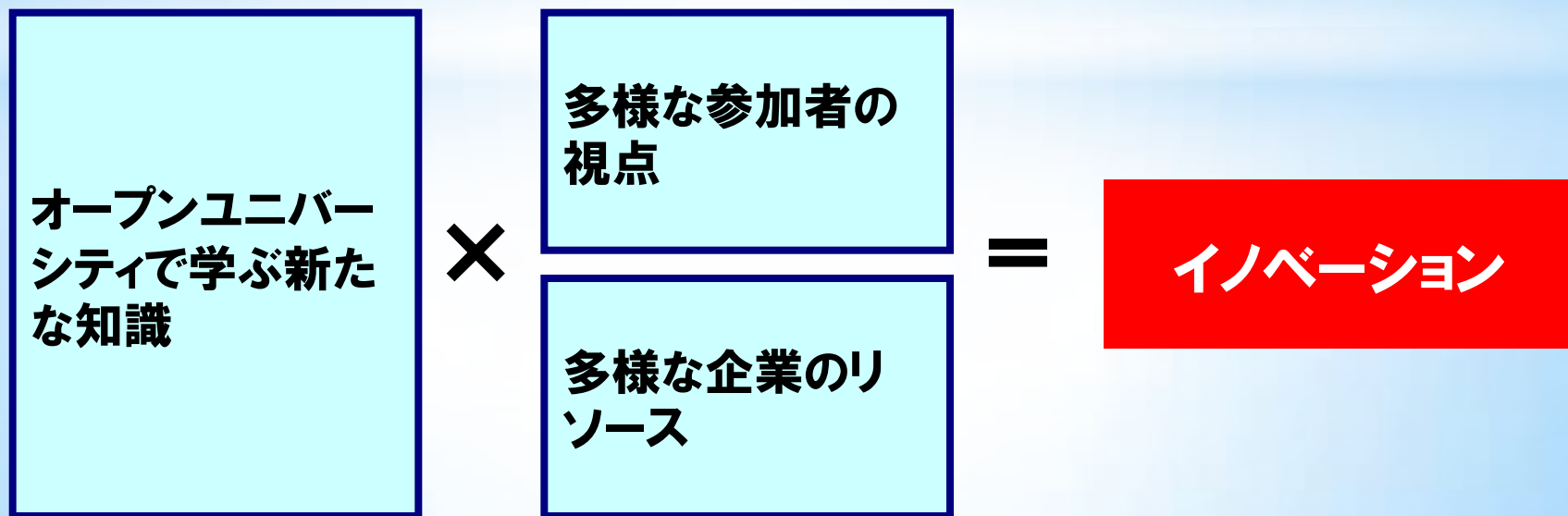
多様性の高いメンバーとの対話を通じ
社会性の高いテーマへのアウトプットを通じ、
新たな時代の社会的エリートの育成を目指します

チャレンジする発表テーマ

- ・「横浜市」に横たわる様々な課題と機会を捉え、各参加企業の知恵を結集することでイノベーションを起こすことを目指します。
- ・特に、文化、芸術、アート、観光という観点から、複雑なステークホルダーを意識して、根本的な街作りについて考えていきます。

* テーマイメージ(現在最終検討中となっております)

- ・創造都市横浜として、どうすればクリエイティブインダストリーの拠点となれるのか？
- ・国際都市横浜として、東京オリンピックという機会をどうかつようするのか？



知識リーダー育成オープンユニバーシティから得られるもの

■共通善を考える高い視座と思考力

街づくりと言う、生活者と社会のデザインを行うという行為を通じ、より幅広い課題や機会、そして根本的な幸せなどについて考え尽くすことを通じ、リーダーとして思考すべき高い視座が強化されます。

■企業を超えたリーダーのネットワーク

これからのリーダーは単に商品、サービスを生み出すだけでなく、様々な企業がコラボレーションしてより高度なソリューションを提供していくことが求められます。参加企業を代表するリーダー同士のネットワークを構築することができます。

■ダイバーシティを活かす力

バックボーンの異なるメンバーが集まり、ステークホルダーが多様な課題についての提言を検討することで、多様性を活かしていくために必要なマインドセット、コミュニケーション能力などが強化されます。

学習ポリシー

■知識リーダーの育成に向けて

- ・未来を創るリーダーに必要なもの（知識リーダー vs MBAホルダー）
 - ・ビジネススキルではなく、経営哲学の確立を目指します
 - ・分析力ではなく、未来を洞察するための視座、視点の確立を目指します
 - ・戦略立案ではなく、実行する力の確立を目指します

【知識対話会】

哲学者や社会学者などの外部講師を招き、今後の世界がどうなるか、どうあるべきかについて対話をぶつけ合います。

ビジネスリーダーとして、どのような社会を作り出すかについての視座を深めていきます。

【課題対話会】

横浜市から設定されたテーマについて、解決策をまとめていきます。

新たに学んだ視点やフィールドワークの結果、各社のリソースを織り交ぜながら都市の問題解決に向けたアクションを考えます。

【フィールドワーク】

現地のフィールドワークを行い、課題への参与観察を行います。

現地現物の理解し、実践知の獲得プロセスを学習します。

実施概要とカリキュラム

■プロジェクトリーダー兼ファシリテーター

- ・知識リーダーシップ総合研究所
所長 多摩大学大学院 教授 徳岡晃一郎
ディレクター 片岡裕司
- ・プログラムアドバイザー: 知識リーダーシップ総合研究所 シニアディレクター
多摩大学大学院 教授 紺野登

■実施概要

- ・プログラム: 異業種交流型アクションラーニング
- ・キックオフ 2014年3月3日 (～2014年8月迄を予定)
- ・募集: 15社(15名程度)
- ・費用: 1社1名 500,000円(消費税込)
- ・対象: ミドルマネジャー(課長層)を想定

カリキュラム

■プログラムスケジュール(案)

* スケジュールは参加企業様、テーマが確定次第最終決定します。

・下記以外にプレゼン内容の検討等の自主検討会が必要になる可能性があります。

日時		セッション
3月3日	15時～18時 (～19:30)	キックオフセッション:これからの学びについて知る。知識リーダー／M BBとは。終了後ミニ懇親会を予定。
4月11日	10時～18時	知識対話会①:新たな知に触れる。 課題ワークショップ①: 課題のオリエンテーション。課題解決の方法論を学ぶ
5月	10時～18時	知識対話会②:新たな知に触れる。 課題ワークショップ②:フィールドワーク&コンセプト創造。
6月	10時～18時	知識対話会③:新たな知に触れる。 課題ワークショップ③: ビジネスモデルを描き、コンセプトに磨きをかける
7月	10時～18時	中間発表会&最終発表に向けてのWS
8月	10時～18時 (～19:35)	テーマスポンサーに向けての最終発表 +ミニ懇親会